



学校だより

はくれい

白山市立
白嶺小中学校
第18号
令和4年12月23日



79日間の2学期が終了します

実り多かった2学期が今日で終わります。日々の授業や仲間との関わり、そして運動会や白嶺祭などの学校行事、部活動等を通して一人一人に成長が見られました。

終業式でもお話ししましたが、毎年12月の初めに、清水寺で発表される一年を表す漢字、今年は「**戦**」という漢字でした。皆さんも学校生活において、運動会などの対抗戦や部活動の大会、自分の記録との戦いなど、多くのことに真剣に、全力で取り組みました。

冬休みには新しい年に向けて**挑戦**したいことや目標を考えてみましょう。受験生の皆さんは体調管理に気をつけ、目標に向かって後悔のないように学習に取り組んで下さい。

保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解と御協力をしていただき、ありがとうございました。冬休みには、お子さんと一緒に通知簿を見ながら2学期を振り返り、頑張りを認め、褒めてあげて下さい。年末年始は家族で大掃除や雪遊びなどができるといいですね

熱戦！初の合同球技大会



9日、白嶺中と鳥越中の合同球技大会が初めて行われました。白嶺中は男女学年混合チーム、鳥越中は学年ごとの男女混合チームで試合をしました。他校との球技大会はお互いにより刺激となり、たいへん盛り上がりました。白嶺Bチームは準優勝でした。

鳥越中の先生からは「白嶺の生徒はパワーがありますね」と言われました。どのチームも3年生を中心によく声を出し、「ナイス」「いいよ～！」「みんな声だそう」などのプラス言葉がたくさん交わされていました。体育の授業や休み時間の練習を通して、技術面やチームワークの向上が見られ、素晴らしいプレーがあちこちで見られました。



白嶺から福島へ♥思いをのせて

今年、本校は「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加しました。これは東日本大震災後の復興のシンボル“ひまわり”を福島の大地に咲かせる取り組みです。全国の人が里親となってひまわりを育て、採れた種をまた福島に送ることで雇用の創出や絆づくり、防災教育につなげる取り組みです。白嶺小では、3年生が理科の時間に福島から届いた種を植え、育て、1～3年生で種をとりました。

先日、金沢村田製作所を通じて福島県のNPO法人 和（なごみ）に届きましたと連絡がありました。

ふくひま



表彰披露

◎第77回石川県耐寒継走大会 団体の部(中学男子の部)

第3位 白嶺中学校チーム

【山本 銀人・山口 二源・辻 悠心・北嶋 空河・林 俊太】

